

# 学燈 *gakutou*



【第6号】

## 山口大学教職大学院は2年目を終わりました

### 実践研究成果報告会・中間発表会を開催しました

#### 発表者とテーマ

成果報告会 教育実践開発コース（学部新卒生2年生）	
八木 将哉	英語での部活動紹介動画作成における主体的な学び —中間的存在としてファシリテートするために—
宮崎 雅史	わかる中学校数学の授業づくり —ICT機器の活用・家庭学習とのつながり—
河合 哲郎	主体的・対話的で深い学びを実現するアクティブ・ラーニングを取り入れた授業実践 —行動の変容を促す中・高等学校における社会科の授業づくり—
鉄村 晋也	生徒一人ひとりが集団の中で関わり合いながら数学的根拠をもって考えることのできる中学校数学の授業づくり
天津 悠介	子どもが学習に意欲的に取り組み、学習力を高めていく授業づくり —子どもが本気になるとき—
佐田尾 和史	未知の課題にも果敢に立ち向かう子どもを育む授業のあり方 —子どもと子どもをつなぎながら、ねらいを達成する授業デザイン—
高橋 遼太	生徒同士の教え合い活動による意識の変容 —保健体育科・数学科における知識構成型ジグソー法の導入—
藤井 龍太郎	若手教員としてのICT活用の探求と学校におけるICT活用研究者としての役割 —学習補助のためのコンテンツ開発とICT活用推進モデルの提案—
成果報告会 学校経営コース（現職教員2年生）	
中原 恵子	学びをつなぐ研修コーディネーターとしての役割 —教職大学院における虹の架け橋モデルの提案—
河田 久美	高校版コミュニティ・スクールの可能性
室内 文彦	小中連携を核としたコミュニティ・スクールの推進 —1中4小施設分離型中学校区における改善プランの取組を通して—
常岡 敏行	下関市における小中一貫教育のあり方 —4つのつながりを意識した取組をとおして—
茂田 幸恵	教職員の資質能力向上をめざした「つながる組織」について —小中一貫教育・地域との連携に視点をあてた取組を通して—
重永 美津子	9年間の学びをつなぐ小中一貫教育 —学びの基礎・基本となる「言語力の育成」を通して—
三時 和久	学校評価アンケートに基づく研修計画の開発に関わる実証的研究

中間発表会 教育実践開発コース（学部新卒生1年生）	
沖永 恵理	共感的人間関係の構築を目指した学び合いの方法について
並河 銀野	算数科における系統性を踏まえた数学的活動・手立て —数学につながる算数の役割—
大塚 祐亮	ICTを活用した遠隔合同授業の学習活動と学習指導に関する研究 —遠隔合同授業の基礎・基本の大切さと自己の考えを伝える力、他者の考えを吟味する場の工夫—
末成 智宏	図画工作（力を合わせて創り上げる）活動を学級づくりに生かしたい —学級が一つになっていく（学習集団に育っていく）プロセスを探る—
永富 大樹	考え、伝え合う数学にするための授業づくり —主体的・対話的で深い学びの授業実践—
福田 晴夏	生涯スポーツ実践者につながる中学校体育の役割の検討 —人間関係を培う体育授業の実践研究—
長富 大輔	子どもたちの深い学びを成立させる指導と評価
中間発表会 学校経営コース（現職教員1年生）	
二瀬 隆雄	山口県の総合支援学校におけるコミュニティ・スクールの導入の工夫
榊原 美代	教員の「学習する組織」づくりへのアプローチ —つながる仕組みづくりを通して—
川本 和敏	組織的な業務改善推進への挑戦
田中 由起枝	コミュニティ・スクールを基盤とした萩大島ならではの小中一貫教育の推進 —ふるさとへの愛着と誇りを志まで高める学校・地域連携カリキュラムの開発と実践—
井本 絢子	チーム熊毛で道徳性を育成 —地域の道徳教育推進体制の構築における道徳教育推進教師の役割—
伊藤 孝浩	組織力向上を目指して —コミュニティ・スクールや小中連携を核として—
杉山 夕子	教職キャリア形成及び職能発達に資する学校組織経営と教員の資質能力形成の因果性について —若手教員の教職キャリアアップ形成の過程追跡に基づく「1000日プラン」の提案—

## 卒業する教育実践開発コース院生へ、実習校の先生方からのメッセージ

たくさんのご参加 励ましのお言葉  
本当にありがとうございました・・・！



数学のみならず、不登校生徒への対応にも、力を貸してもらって助かった。駅伝も一緒に走ってくれて、完全に仲間の一員です。

真挚で前向きな姿が現場の教員にも良い影響を与えた。来年からあなたがいないのは非常に痛い。ICTは潤滑油。効果的な場面を選んで使うあなたの存在自体がよい潤滑。



本来感（自分には価値があるという思い）をもちながら、他者と支え合って生活していけるとよい。ジグソー法・・・一人一人をスペシャリストに。苦手な子にも専門的な力を。教科は違っても教師として大切な共通項がある。

常に子供に寄り添ってくれた。運動会も手伝いに来てくれてありがとう。やまぐち総合教育支援センターとタイアップするなど、今後の可能性に期待！

毎朝の校門で子供達を迎えてくれたおかげで元気なあいさつができる子が増えました。あなたに支えられて私がある。

英語だからこそできることを大切にしたい。みんなでやるからこそその達成感。あなたが一人一人の生徒とかかわったからこそ、主体性が生まれていった。

子供の「分かったつもり」をぶち壊す！本当に「できた！」をめざす。「もっと知りたい、調べたい」を刺激したい。万感の思いです。成長されましたね・・・。



バリバリの若さ ベテランにはできない力がある。子供同士の間関係、教員と子供の距離感が、アクティブ・ラーニングの基礎。もう1年いてくれんかな？

平成29年度教職実践高度化専攻の1年間

月	主な行事	教職実践高度化専攻	
		教育実践開発コース	学校経営コース
4	入学式 オリエンテーション①(4/4) オリエンテーション②(4/6) 全員研究会「学校実習報告」等		
5		↑ 学校実習 (週2日) ↓	原籍校や市町教育委員会での実習中心
6	全員研究会(6/8) ○山口県の教育課題について、集団討論等を通して解決の方途を協議する。 ニュースレター『学燈』第4号発行(6/9) 全員研究会(6/22) ○教職大学院オンデマンド説明会について		
7	経営コース研究会(7/6) ○教頭へのステップ、教頭試験の全体像 ○研究テーマの報告 ○第2指導教員、第3指導への進捗状況説明・受指導	山口県教員採用試験(一次)	
8	集中講義 「カリキュラム開発の理論と実践 A/B」	山口県教員採用試験(二次)	原籍校や市町教育委員会での実習中心
9	講師 關浩和教授 兵庫教育大学大学院学校教育研究科		
10	全員研究会(10/12) 岡崎智利教授 板垣育夫教授による講話 教職実践高度化専攻入試		
11		↑ 学校実習 (週2日) ↓	
12	全員研究会(12/7) ポスターセッションリハーサル 発表会・報告会に向けた概要確認 経営コース研究会(12/14) 中間発表会・成果報告会リハーサル これからの教職大学院の在り方について		
1	実践研究成果報告会及び中間発表会(1/6) ニュースレター『学燈』第5号発行(1/31)		
2	FD委員会(2/1)(2/28) 教職大学院 FD・SD「認証評価について学ぼう」		
3	経営コース研究会(3/2) ニュースレター「学燈」第6号発行 卒業式		